

韓日スピーチコンテスト2021 出場者インタビュー



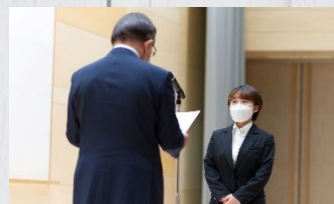
高木 友希さん
国際コミュニケーション学部国際教養学科3年

【スピーチテーマ】日本で韓国を楽しむ自分ならではの方法
【スピーチ内容要約】

韓国語は文の構成や単語が日本語と非常に似ているので、楽しみながら勉強することができます。このコロナ禍で「オンライン留学」に出会い、今では全国の韓国好きとともに毎週勉強しています。
韓国人の母が作ってくれる料理を韓国焼酎とともに食べると、本当に幸せで、韓国を身近に感じることができます。韓国ドラマは、生きた韓国語や文化を学ぶ上で非常に重要で身近な教材です。
コロナ禍で留学や旅行に行けなくなることを悲観するのではなく、楽しむ方法を見つけることが大事だと思います。ひいては、自分自身の人生の楽しみ方を見つけることだとも思いました。いつか、私たちが笑顔で生の韓国を楽しめるその日まで、もっと韓国を学び続けたいと思います。

Q. 韓日スピーチコンテストを知ったキッカケ・理由は何ですか？

スピーチコンテストが開催されていることは大学1年次から知ってはいましたが、なかなか自分の語学力に自信を持てず、毎年参加を見送ってきました。ですが、コロナ禍によって考えていた留学の計画を見直さなくてはならなくなり、目標を失ってしまった中で、何か挑戦できることはないかと考えました。その時、この大会の存在を思い出し、挑戦してみようと思いました。



Q. 内面的な成長や変化はありましたか？

この大会に参加する前は、人前に立つことが恥ずかしかったり、発言にためらってしまったり、失敗を恐れて物事を始めようとすらしていませんでした。ですがこの大会に自主的に参加してからは、あれほどの人数の前ではっきりと自分の意見を発表できたのだから恐れることはないと、自分に自信を持てるようになりました。また、始めてみなければ成功するか失敗するかは分からないということを身に染みて実感しました。

Q. スピーチをするうえで気を付けたことは何ですか？

スピーチは何も見ず滑らかに話せるようになるまでに、多くの時間を費やしました。また、心を込めて想いを届けたいと思ったので、身振り手振りには特に力を入れました。本番は、順番が中盤ということで大変緊張しましたが、今までの練習の成果を発揮するために自分の伝えたいことを大切に表現できるように、完璧にこだわらず、落ち着いて話すことを心がけました。

Q. 今後に向けた意気込みを聞かせてください！

初出場にしては良い結果だったのではないかと感じています。他の出場者の方々の発表はどれも素晴らしいので、今後彼らの考えを取り入れていきたいです。まだ高みを目指せるので、今後もこの大会に参加し、挑戦していきたいです。自分が書いて、読んだ韓国語が評価されたということだと思うので、流暢で、違和感のない韓国語力を身につけられるよう、今後一層勉強に励みたいと思います。